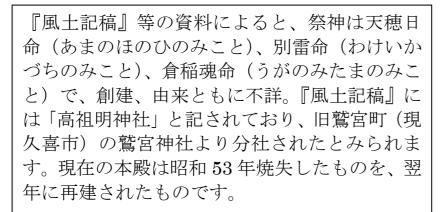




かみのだわしみやじんじゃ 上野田鷲宮神社





Lxjでんじ **正伝寺**

上野田にある曹洞宗の寺院。大徳寺の末寺。 開基は岩槻城主太田十郎氏房と伝わっていま す。

本尊は釈迦如来。本堂と太子堂が併設され、墓地内に開山様が祀られています。

「開山様」として崇められているのは、中興開山大長益善のことで、益善は亡くなるとき「婦人の病は私を信仰すれば必ず治る」

と言い残したと言われ、かつては小絵馬を奉納する大勢の参拝客で賑わいました。



下野田の一里塚

江戸幕府は、慶長9年(1604)主要街道に一里塚を築きました。江戸日本橋を起点に1里(約4キロメートル)毎に街道の両側に塚を築き頂上に榎や松の木などを植えました。

下野田の一里塚は日光御成道に造られたもので、日本橋から 11 番目の塚です。なお、両側に塚の残る一里塚としては県内唯一で、県の文化財(史跡)に指定されています。



しものだわしみやじんじゃ 下野田鷲宮神社

下野田のほぼ中央にある鎮守で、祭神は天穂日命(あまのほのひのみこと)。社殿は本殿と拝殿。境内には種々の記念碑、稲荷神社があります。中でも富士講中によって造立した「女孝心」の石塔はめずらしいものです。



つめたがやすわじんじゃ 爪田ケ谷諏訪神社

爪田ケ谷の鎮守で祭神は建御名方命(たけみなかたのみこと)。『風土記稿』に「村の鎮守、観音寺の持」とあります。観音寺は観音堂のことです。社殿は本殿、拝殿。境内の大スギは市の文化財に指定されています。



つめたがやかんのんどう 爪田ケ谷観音堂

敷地内に教育者 富沢玄智 の筆塚があります。筆塚は、もともと書家が廃筆の供養のために築いたもので、書家が寺子屋の師匠になるに及んで教え子達の筆もあわせて埋め、筆の供養をするとともに、師匠を顕彰する意味を持つようになりました。



ひこべえの森

平成19年からは、市のふるさとの森として 指定され、平成22年度の埼玉県の「まちの エコ・オアシス保全推進事業」により、森の 一部を土地所有者のご協力により公有地化し 次世代に継承していくことになりました。彦 兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森は、わずかに 残された雑木林のひとつで、コナラ、クヌギ、 イヌシデ、エゴノキなどの落葉広葉樹とシカ ラシ、ヒサカキ、シロダモなどの常緑樹が見 られます。森では、市・ボランティア団体な どが自然観察会や環境学習会などを行ってい ます。



大徳寺

上野田にある曹洞宗の寺院。

創建は不詳ですが『大徳寺縁起』によると永正 9 年 (1512) に再建して改宗したとあります。

本尊は釈迦如来。境内には大日堂(本尊の大日如来座像は市指定文化財)、観音堂があります。